Multi Braille Document Editor

取 扱 説 明 書

株式会社日本テレソフト

はじめに

「Multi Braille Document Editor」（以下 MBDE と称す）は、パソコンを利用し、弊社製の点字プリンタを簡単に効率よく点字（点字＋墨字）出力することができるソフトウェアです。ご使用になる前に、このユーザーズ・ガイド（本書）を良くお読み頂き、正しくご活用ください。

また、このシステム内で、点字文書の編集が簡単にでき、入力方法や表示方法がお好みに設定できますので、扱いやすくなっています。お客様の入力スタイル、表示スタイルを決めて、点字文書の編集を行い、点字印刷を行ってください。

製品パッケージ

・導入 CD　1 枚
・ユーザーズ・ガイド（本書）　1 冊

システム概要

日本テレソフト製の点字プリンタに対応したソフトであり、編集機能を持ったエディターソフトで、取り込んだ点字データを直接編集、印刷できます。

また、BASE や Win-BES で作成した点字ファイルも、DOG-Multi を使用する事により、点墨併記で印刷可能です。但し、ひらがな表示での印刷のみになります。

なお、本システムをお使いになる方は、マウスの使い方、Windows 98SE / Me / 2000 / XP / Vista の一般的な操作方法については、除かせて頂きますのでご了承下さい。

このプリンタの使用方法およびこの取扱説明書に関して、理解できない個所、記述の誤りや洩れなど、お気付きの点がありましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

・　本書の内容については、改良、修正のため予告なく変更することがあります。

製品及び取り扱いについてのお問い合わせ先

株式会社　日本テレソフト　福祉機器事業部
〒102-0083　東京都千代田区麹町 1-8-1　半蔵門 MK ビル１F
TEL: 03-3264-0800　　FAX: 03-3264-0880
URL: www.nippontelesoft.com　　E-Mail: ts-info@telesoft.co.jp

目　　次

第１章　インストール

このソフトを使うためには、まずプログラムをインストールしなければ使えません。インストールとは CD に収められているプログラムをパソコンのハードディスク上に構築して、いつでもソフトを使えるようにする一連の作業の事です。

１．動作環境

動作環境は以下の通りです。この環境以外のパソコンでは使用できない場合があります。

オペレーティングシステム

Windows 98SE, Me, 2000, XP , Vista, 7, 8

コンピューター

上記 OS が動作するパソコン

ＣＰＵ

PentiumⅡ以上推奨

ハードディスク

20MB 以上の空スペースが必要

メモリー

64MB 以上推奨

ＣＤドライブ

インストール時に必要です

点字プリンタ（点字印刷を行う場合）

TP-32, BPW-32, BMP-320, DOG-Multi（ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ含む）, DOG-Basic32, DOG-Pro32W

２．ＭＢＤＥのインストール

他のアプリケーションが起動していると正常にインストールできない可能性がありますので、他のアプリケーションはすべて終了させてください。

１）　導入ＣＤをＣＤドライブにセットします。通常は自動で下図のような画面になります。下図のような画面にならない場合は、Windows のスタートメニューの「ファイル名を指定して実行（R）」からＣＤドライブを指定し、Setup.exe を起動してください。

次へ（N）をクリックします。

２）　下図の画面では、インストール先のディレクトリを変更できます。標準でよければそのまま次へ進みます。

次へ（N）をクリックします。

3）　インストールの確認画面

［次へ（N)］をクリックすると、インストールが開始します。少し時間がかかる場合がありますので、完了の画面が表示されるまでお待ちください。

4）　下図の画面が表示されたら、閉じる（C）をクリックしてください。これでインストールは完了です。

３．ＵＳＢドライバのインストール（32bit/64bitOS 対応）

※自動認識後、次章の「ＵＳＢ－仮想ＣＯＭポートの確認」へ進んで下さい。

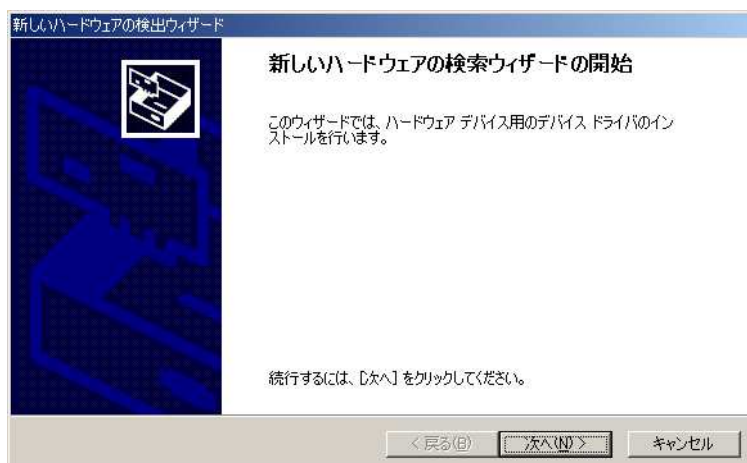
ＵＳＢケーブルを使いプリンタに出力する場合は、必ずＵＳＢドライバをインストールしてください。なお、ＵＳＢドライバは<u>Windows 2000 以降のＯＳ</u>にしか対応しておりません。十分ご注意ください。

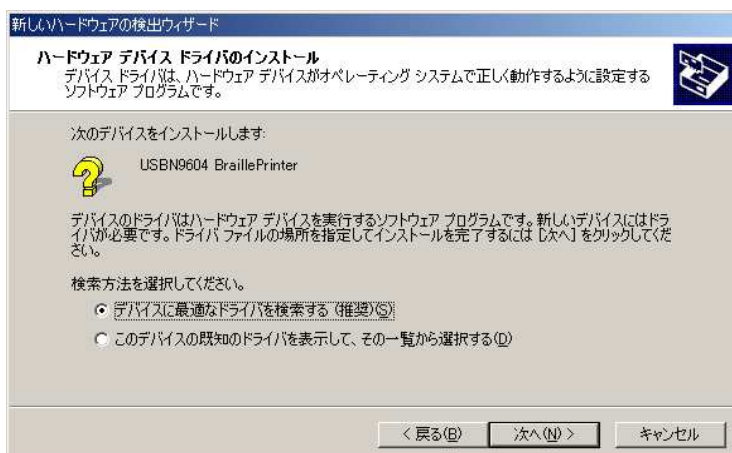
ＵＳＢドライバは<u>仮想ＣＯＭポート</u>を作成します。プリンタドライバは作成された仮想ＣＯＭポートを利用して、プリンタとＵＳＢ通信します。必ず<u>プリンタドライバより前</u>にＵＳＢドライバをインストールしてください。

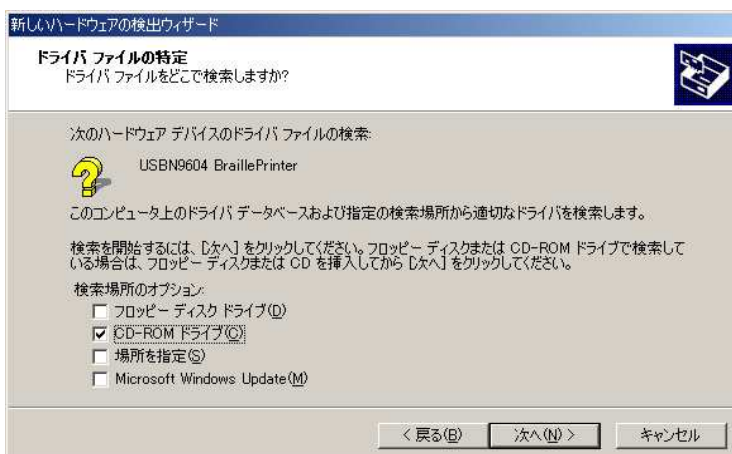
USB ドライバのインストール方法（Windows XP・2000）

１）　プリンタの電源が落ちている事を確認し、パソコンとプリンタをＵＳＢケーブルで接続してください。

２）　プリンタの電源を入れます。

電源が入ると同時に、パソコンはＵＳＢデバイスを検出し、自動でＵＳＢドライバの検索ウィザードを開始します。

<u>次へ（Ｎ）</u>をクリックします。

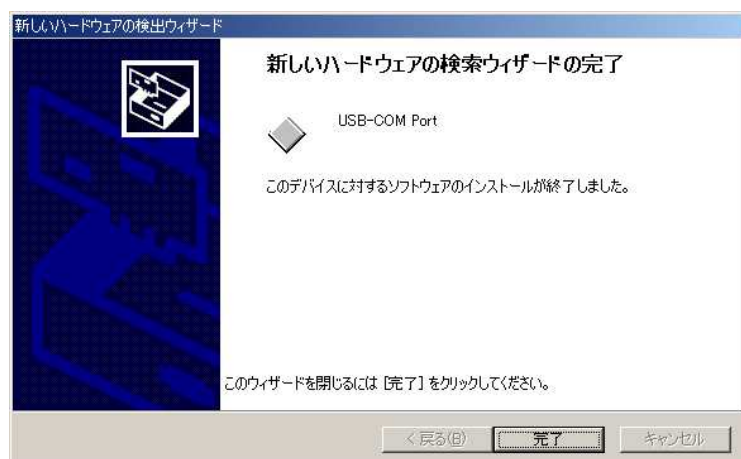
３）　デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）（Ｓ）を選択します。

次へ（Ｎ）をクリックします。

４）　ドライバファイルの場所を指定します。導入ＣＤをお持ちの場合は、ＣＤ－ＲＯＭドライブ（Ｃ）を選択します。導入ＣＤがない場合は、ＭＢＤＥのインストール先を指定します。

次へ（Ｎ）をクリックします。

5）　最適なドライバが検索されますので、そのままインストールして下さい。

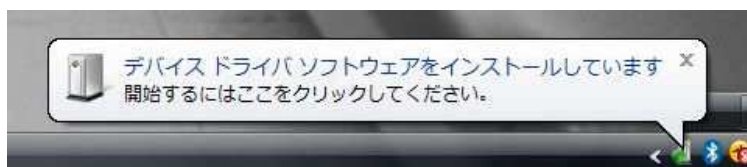
次へ（N）をクリックします。

6）　“ＵＳＢデバイスに Windows ロゴがありません”等で確認を聞いてきた場合は、続行（N）をクリックして、そのままインストールを進めてください。

7）　完了をクリックすると、ドライバのインストールを完了します。

USB ドライバのインストール方法（Windows　Vista、7,8）

※表示されるメッセージは違っていますが、流れは同じになります。

１）　プリンタの電源が入っていない事を確認し、パソコンとプリンタをＵＳＢケーブルで接続してください。

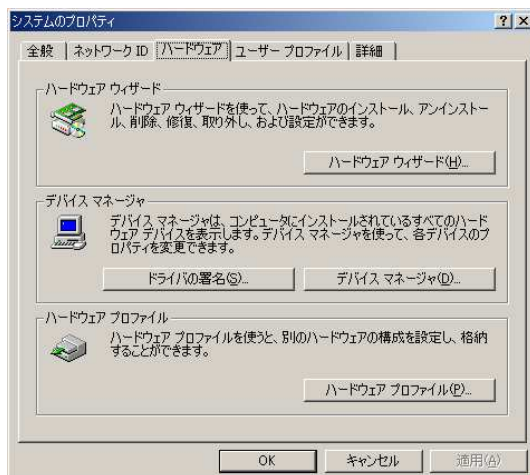
２）　プリンタの電源を入れます。
電源が入ると同時に、パソコンはＵＳＢデバイスを検出し、自動でＵＳＢドライバの検索ウィザードを開始します。ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）（L）を選択します。

次へ（N）をクリックします。
画面が変わったら、続行を選択し、先に進みます。
ドライバソフトウェアの発行元を検証できませんの画面が表示されたら、インストールします（I）を選択し進めます。

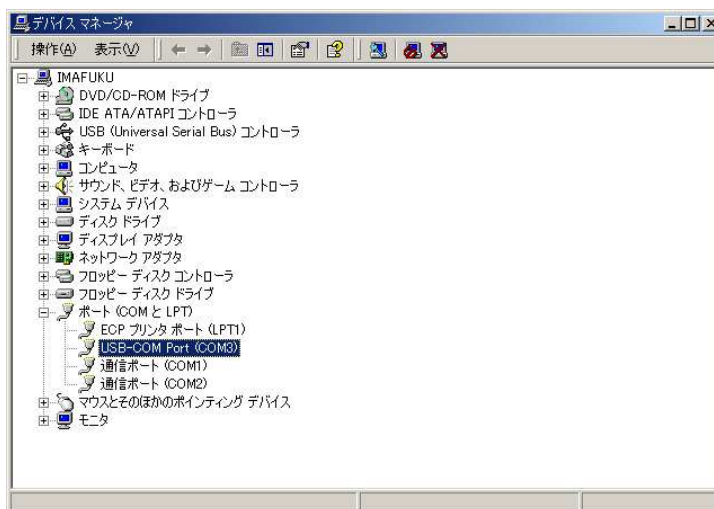
正常にインストールされましたの画面が表示されれば、USB ドライバーのインストールは終了です。
※画面上側に仮想 COM の番号が表示されますので、次のプリンタードライバーの設定の時にこの表示された COMx を設定します。
（ここでは、COM3 になってます）

※次の仮想 COM ポートの確認は不要

４．ＵＳＢ－仮想ＣＯＭポートの確認

ＵＳＢドライバをインストールすると、仮想ＣＯＭポートが作成されます。何番のＣＯＭポートに割り当てられるかは、ご使用のパソコンに依存します。プリンタドライバをインストールする前に、作成された仮想ＣＯＭポートが何番か確認しておきます。

１）　システムのプロパティを開き、更にハードウェアのタグからデバイスマネージャ（D）を開きます。

※ Vista の場合、コントロールパネルのシステムとメンテナンスを開き、デバイスマネージャからハードウェアとデバイスを表示を開きます。

2）　ポートを展開して、利用可能なポートを確認します。ここで、USB-COM Port（ＣＯＭ３）のように、作成された仮想ＣＯＭポートの番号を確認する事が出来ます。下図のサンプルの場合は３番です。

５．変換ケーブルを使用する　（ＵＳＢポートのないプリンターの場合）※サポート終了

・TP-32,　BMP-320(C),　BPW32 をお使いの方で、入力端子が USB 端子のみのパソコンで利用される場合は、変換ケーブルをご使用下さい。

※変換ケーブルをご使用時のご質問、ご相談については大変申し訳ございませんが、お答えする事ができませんので、お客様ご自身での判断にて、ご利用下さい。また、何らかの支障がありましても、弊社には一切責任がない事をご理解下さい。

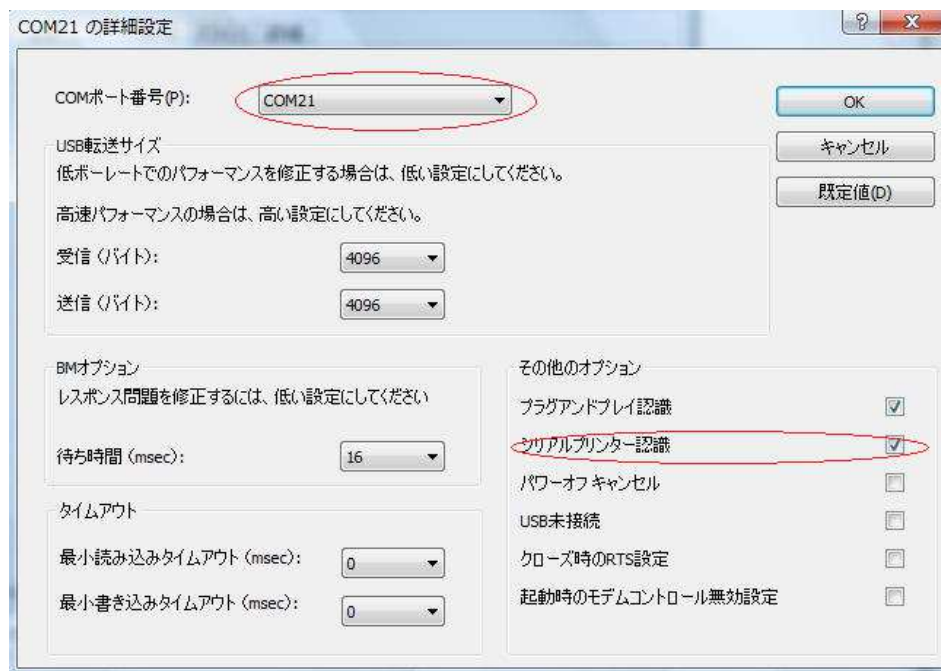
1）　USB シリアルケーブル「SRC06USM」㈱バッファローコクヨサプライ製）を準備して下さい。

上記の変換ケーブルのインストールが完了しましたら、「スタート」→「コントロールパネル」→「システム」→「システムのプロパティ」→「ハードウェア」→「デバイス マネージャー」を開いて下さい。

デバイス マネージャーのポート（COM と LPT）の部分に「USB Serial Port」が表示されますので、右クリックし「プロパティ」を選択して下さい。

画面上部の「ポートの設定」を開き、下記の設定に合わせて下さい。

※設定は、上記の状態に合わせて下さい。

次に、「詳細設定」ボタンを押して下さい。

※シリアルプリンター認識部分に「チェック」を入れて下さい。
※画面上の COM ポート番号を覚えていて下さい。
その後、全て OK を押してパソコンの再起動を行って下さい。

2）　次に、P9～P14 の「プリンタドライバのインストール」を行い、上記の COM ポート番号を指定し、Generic/Text Only　を設定して下さい。

これで、設定は終了しましたので、印刷をするときに Generic/Text Only を指定して印刷すれば印字することができます。
※P27「5.点字プリンタ出力」参照

６．プリンタドライバのインストール

点字文書を印刷する場合、ケーブルが接続されているポートへ直接出力する方法と、プリンタドライバへ出力する方法があります。ＯＳの種類によっては出力方法が限定されます。(第２章　４．点字プリンタ出力参照)

Windows 98SE, Windows Me の場合

ケーブルが接続されているポートへ直接出力します。ドライバはありません。

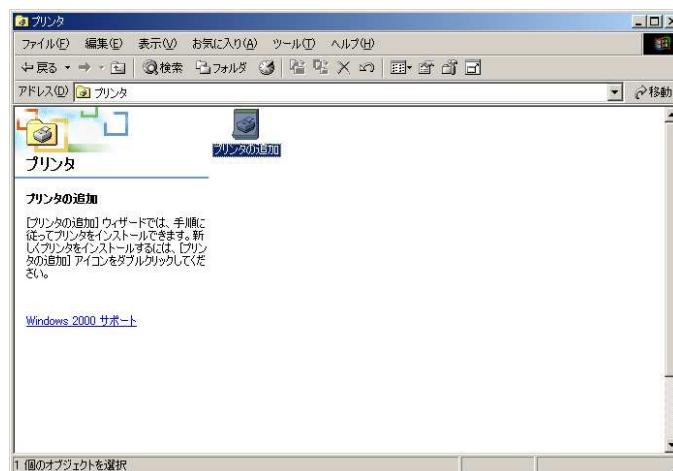
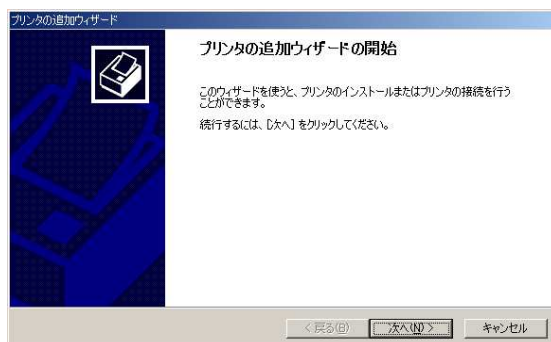
Windows 2000 以降の場合

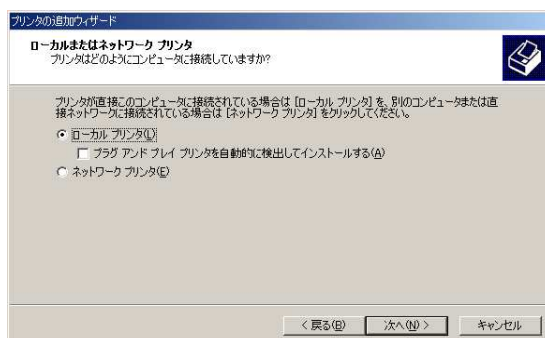
ケーブルが接続されているポートへ直接出力する方法と、ＯＳ標準添付のドライバを使用する事ができます。

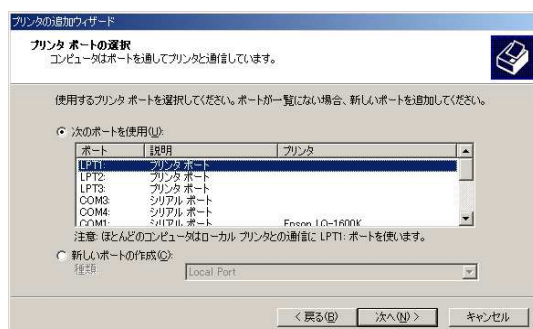
プリンタドライバのインストール方法（Windows 2000 以降）

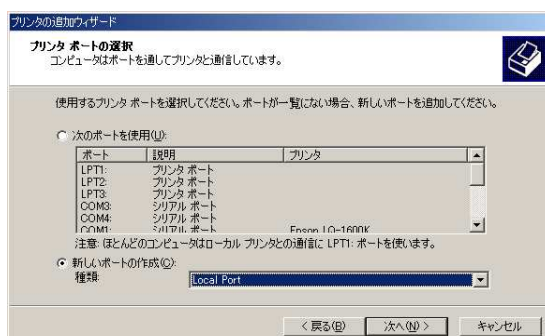
※Windows での画面及び操作手順は、Windows 2000 を例に説明しています。
お使いの OS のバージョンによっては、表示される画面や名称が異なることがあります。

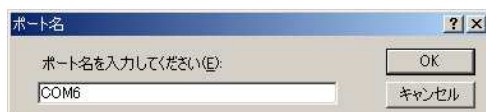
1）　コントロールパネルを開きプリンタをダブルクリックします。

2）　プリンタの追加をダブルクリックします。

3）　プリンタの追加ウィザードが開始されます。

次へ（N）をクリックします。

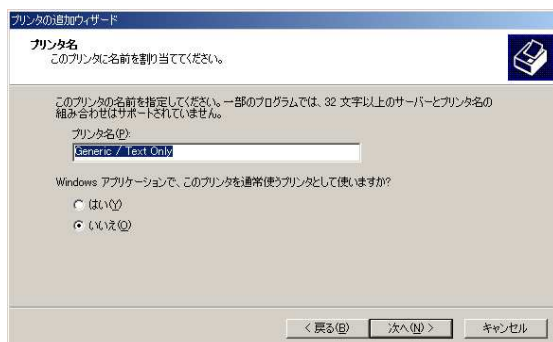
4）　ローカルプリンタ（L）を選択し、プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする（A）のチェックを外します。

次へ（N）をクリックします。

5）　プリンタポートの選択（L）では、点字プリンタを接続しているポートを選択します。パラレルポートをご使用の場合はＬＰＴｘ、シリアルポートをご使用の場合はＣＯＭｘ、ＵＳＢで通信を行う場合は仮想作成されたＣＯＭｘを指定します。

次へ（N）をクリックします。

ＵＳＢドライバで作成された仮想ＣＯＭポート（ＣＯＭ６等）が選択できない場合は、新しいポートの作成（Ｃ）をチェックし、種類はローカルポートを選択します。

次へ（Ｎ）をクリックします。

第１章　４．ＵＳＢ－仮想ＣＯＭポートの確認で、ＵＳＢドライバが作成した仮想ＣＯＭポート名を入力し、ＯＫをクリックします。下図のサンプルの場合はＣＯＭ６です。

５）　プリンタの一覧が表示されますので、製造元（Ｍ）では Generic を選択し、プリンタ（Ｐ）は Generic / Text Only を選択します。

次へ（Ｎ）をクリックします。

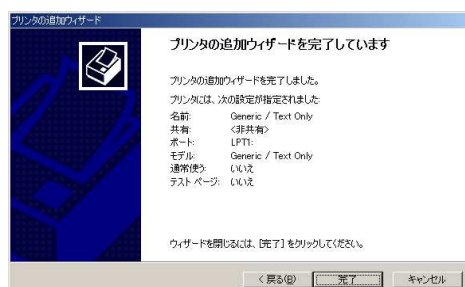
６）　プリンタドライバの名前（任意）を付ける事が出来ます。変更しない場合はそのまま進みます。

次へ（N）をクリックします。

７）　パソコンがネットワークに接続されている場合、プリンタを共有するかどうかを設定できます。

次へ（N）をクリックします。

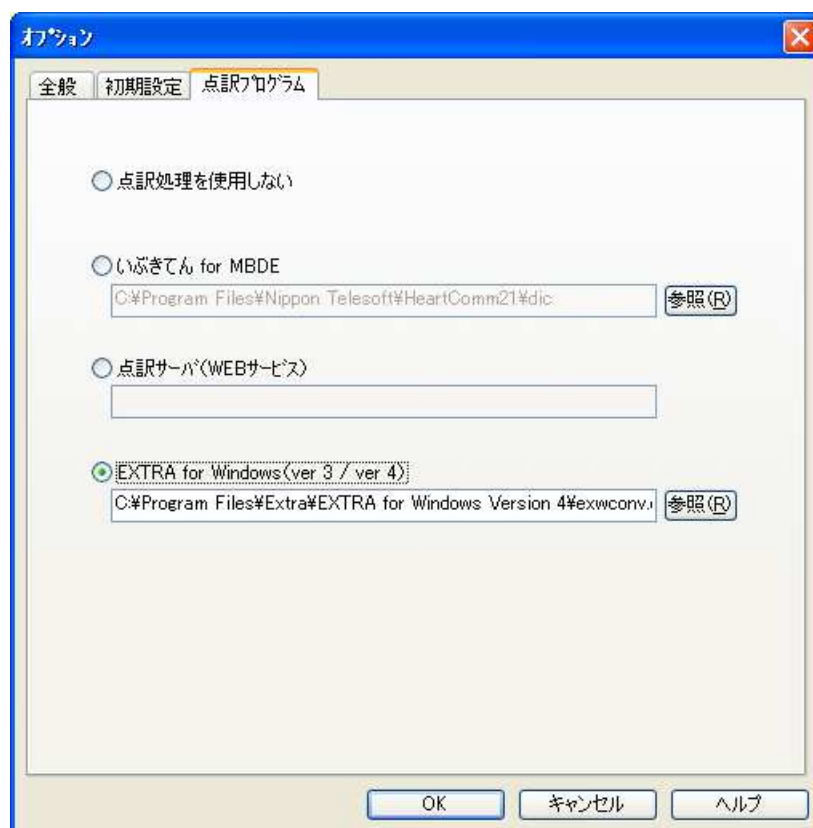
プリンタを共有すると、ネットワークに接続されている他のパソコンからこのプリンタを使用することが出来ますが、クライアント側のＯＳが Windows 2000 または XP である必要があります。Windows 98SE, Me からは印刷出来ません。

８）　テストページの印刷ではいいえ（O）を選択し、次へ（N）をクリックします。

９）　完了をクリックすると、ドライバのインストールを完了します。

7．初期設定

MBDE で点訳機能を使用するには、いぶきてん(ハートコミュニケーション２１同梱)あるいは、点訳ソフト EXTRA for Windows が必要です。いぶきてん[1]は、ハートコミュニケーション２１（有償版 MBDE）に含まれています。EXTRA for Windows は、Ver 3.15 以降 のものが利用可能です。Extra for Windows を利用する場合は、以下の設定を行う必要があります。

注：前バージョンの点訳ソフト ハートコミュニケーション 2001 と EXTRA for Windows は同一の PC にインストールできません。点訳機能は後にインストールされたもののみ正常に動作します。

1） MBDE を起動し、ツール（T）メニューからオプション（O）を開きます。開いた画面の中から点訳プログラムのタブを選択します。

[1]点訳処理です。モジュール「いぶきてん」は、国立大学法人岐阜大学（工学部応用情報学科池田研究室）で開発された自動点字翻訳編集システム

2）　点訳ソフトを設定します。

- 点訳機能を利用しない場合
  ［点訳処理を使用しない］を選択してください。

- 「いぶきてん」を利用する場合
  ［いぶきてん for MBDE］を選択し、入力ボックスの中に、HeartComm21 内のdic フォルダへのパスを入力するか、［参照］で HeartComm21 内の dic フォルダを指定します。
  ※ハートコミュニケーション２１をインストールした場合には、辞書のパスは自動的に設定されていますので、本設定は不要です。

- 「点訳サーバ(WEB サービス)」を利用する場合
  ［点訳サーバ（WEB サービス)］を選択し、点訳サーバのアドレスを入力してください。（本機能は開発中の為ご利用できません）

- 「EXTRA for Windows」を利用する場合
  ［EXTRA for Windows(ver 3 / ver 4)］を選択し、入力ボックスの中に、点訳エンジンのインストール先の exwconv.exe へのパスを入力するか、［参照］でインストール先の exwconv.exe を指定します。

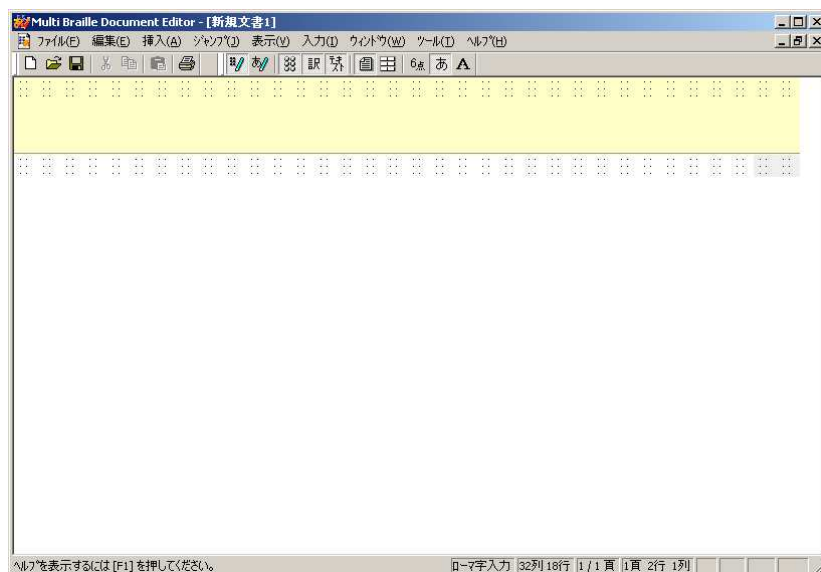
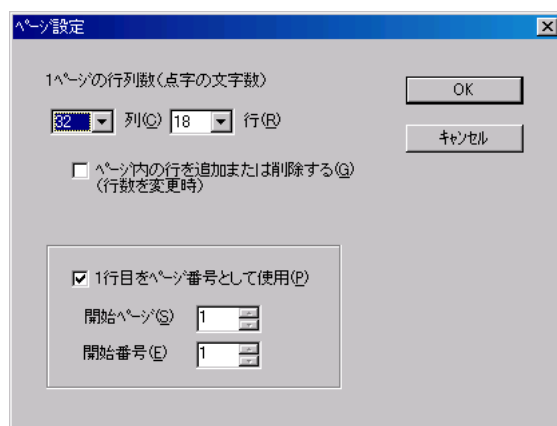
第２章　基礎編

この章では、新規に点字文書を作成、既存の点字ファイルの取り込みによって、点字プリンタに印刷するまでの流れを、説明します。

上図で示すように、まずはそれぞれの方法で点字ファイルを作ります。作成した点字ファイルを編集、保存したり、点字プリンタで印刷します。

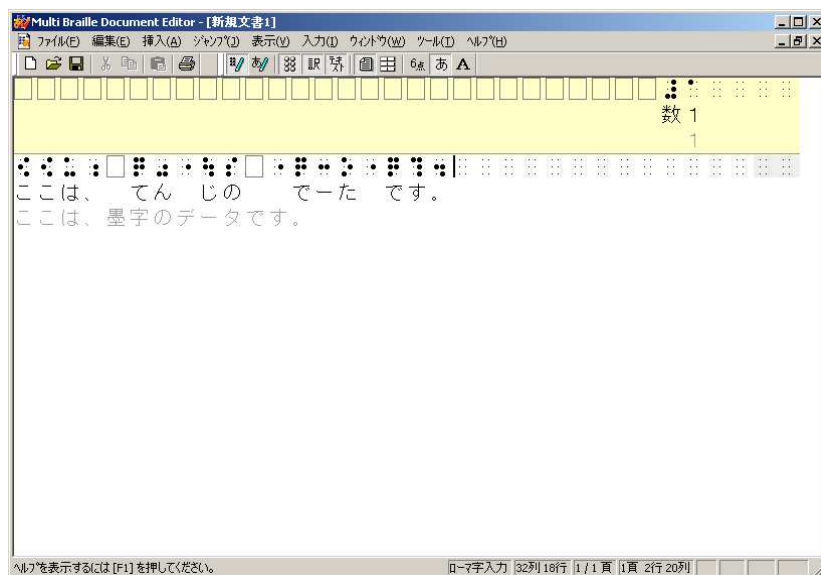
１．キー入力で新規点字文書作成

ここでは、新規で点字文書を作成し、点字ファイルを作ります。点字文章を作成する場合は、点字のルール（分かち書き）に沿って作成します。点字文書作成の基本ルールは視覚障害者団体等発行の点訳本をご参考ください。

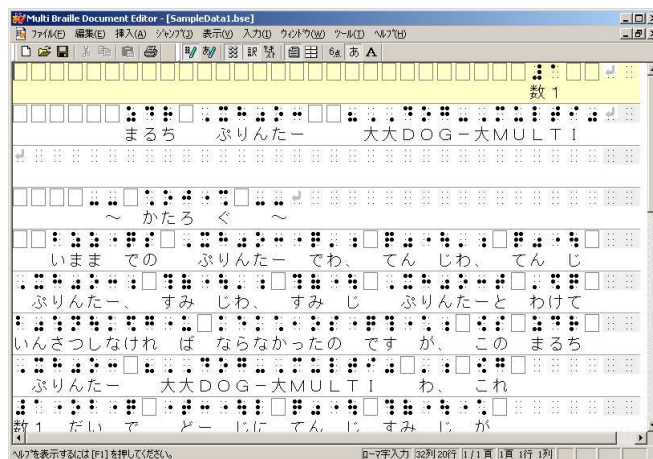
1）　ファイル（F）メニューから新規作成（N）を選択してください。新規ファイルが開きます。

2）　ツール（T）メニューからページ設定（P）を選択すると以下の画面が表示されますので、1ページあたりの文字数（列）、行数を指定して下さい。
また、1行目をページ番号として使用にチェックをすると、各ページの1行目をページ番号の表示行として設定できます。ページ番号の表示行に設定した場合は、ページ番号の表示専用となりますので、文章の入力は出来ません。

３）　このソフトのファイルには、各行に点字データ、点字データの直訳、テキストデータと、３種類の情報が含まれます。

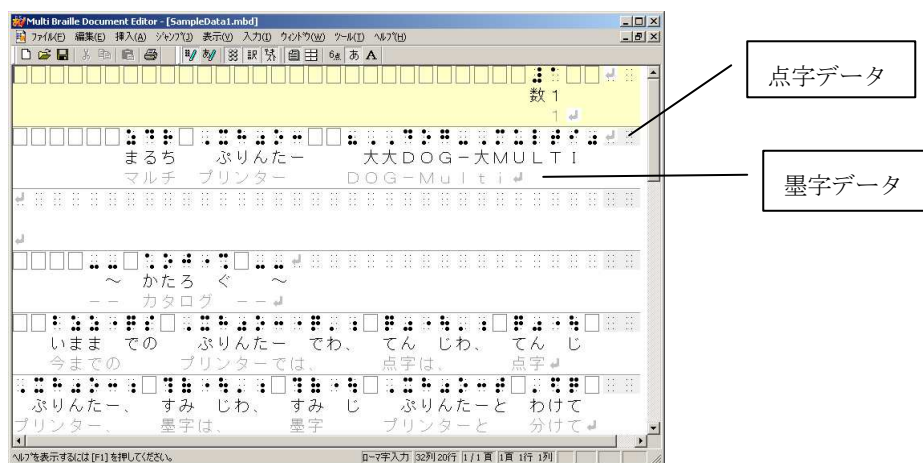
点字データは、分かち書きで書かれたドットパターンでの表示です。ドットパターンのすぐ下には直訳をかなで表示しますが、かなで表示しているだけで、点字データではありません。

一番下はテキストデータの表示部分です。点字だけで印刷する場合は必要ありませんが、点字と墨字の同時印刷（DOG-Multi 等の点墨併記プリンタ使用）の場合は、墨字印刷用のデータとしてこのテキストが使用されます。このテキストには点字と同じ内容の文章を入力します。

　また、点字データは、点字データとして、墨字データは墨字データとしてそれぞれ個別に、入力する必要があります。

2．BES, BASE, MSE ファイル等を取り込む

このソフトでは、既存の BES, BASE, MSE ファイル等の別のアプリケーションで作成された点字ファイルを開き、編集ができます。

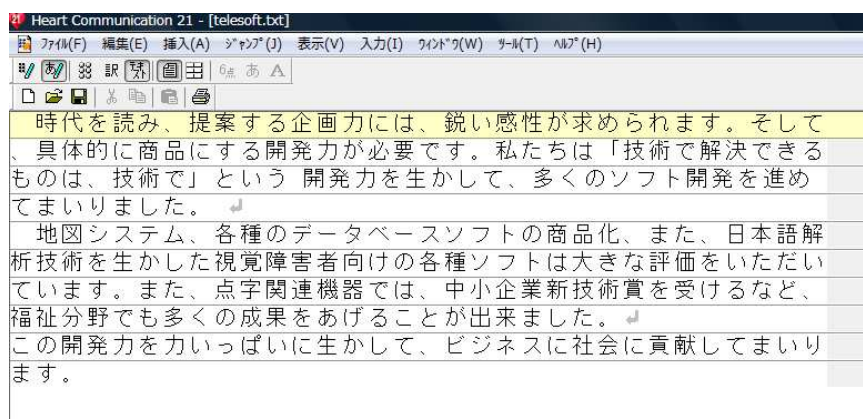
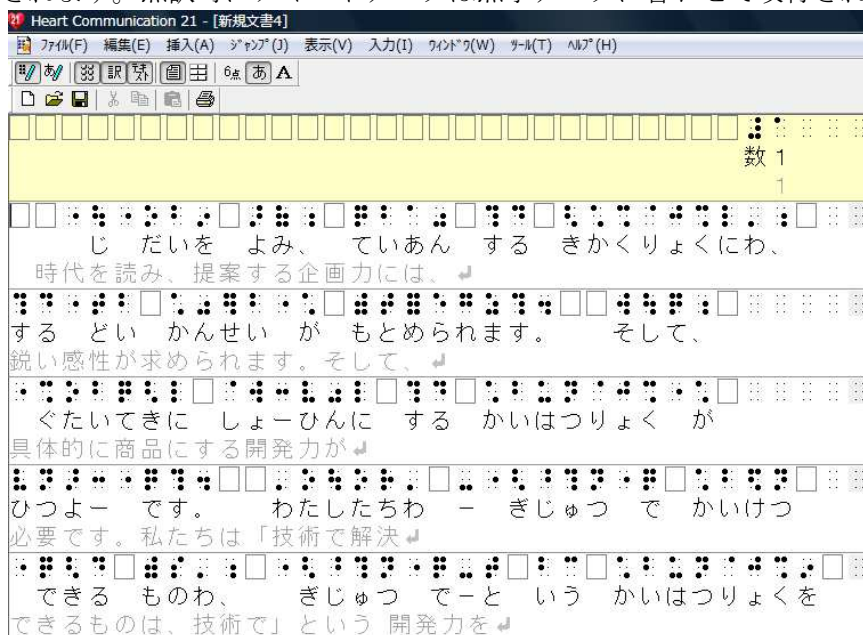
1） BES, BASE ファイル等の<u>点字だけ</u>のデータファイルを取り込みます。<u>ファイル（F）メニュー</u>から<u>開く（O）</u>を選択し、保存場所からファイルを開きます。

図のようにテキストデータはなく、点字データだけが取り込まれ、直訳が表示されます。
※点字データではなく、分かち書きされたテキストデータ（TXB ファイル）も同じように表示されます。

2） MSE ファイル等の<u>点字とテキスト</u>のデータファイルを取り込みます。<u>ファイル（F）メニュー</u>から<u>開く（O）</u>を選択し、保存場所からファイルを開きます。

図のように、点字データ、直訳、テキストデータが取り込まれます。

３．テキストファイルを点訳する

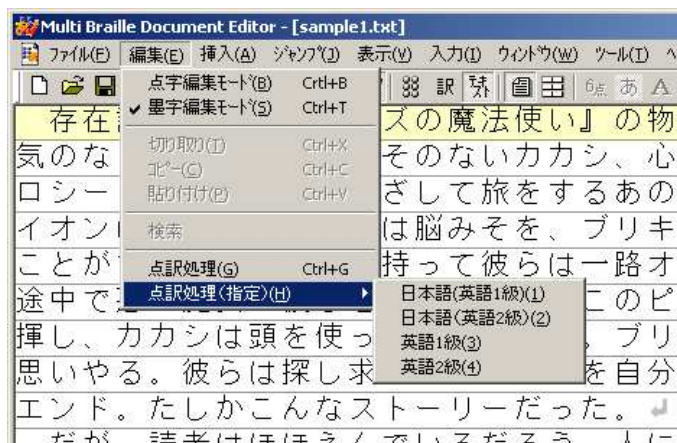
ここでは、テキストファイルを開き、点訳することによって点字データを作ることができます。この点訳機能を利用するには、いぶきてん[2]、あるいは、EXTRA for Windows Ver 3.15 以降のものがインストールされている必要があります。

※いぶきてんは、ハートコミュニケーション２１に含まれています。

１）　ファイル（F）メニューから開く（O）を選択し、保存場所からテキストファイルを開きます。

２）　編集メニュー（E）から点訳処理（G）を実行すると、表示されているテキストデータが点訳されます。点訳時にテキストデータは点字データに合わせて改行されます。

図のようにテキストデータが点訳され、点字データも表示されます。

[2]点訳処理モジュール「いぶきてん」は、国立大学法人岐阜大学（工学部応用情報学科池田研究室）で開発された自動点字翻訳編集システムです。ハートコミュニケーション21ではその点訳ライブラリを利用しています。

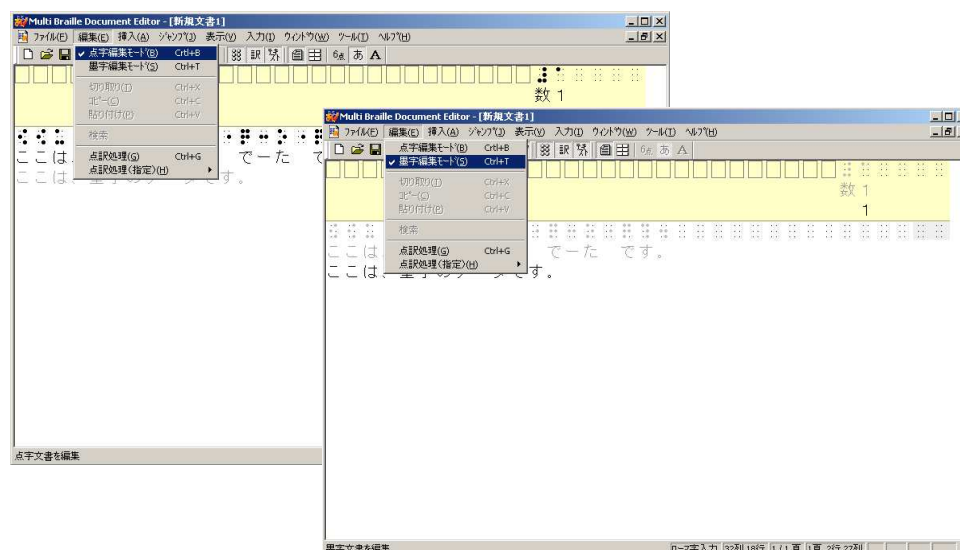
３）　点訳ソフトが「いぶきてん」の場合、編集メニュー（E）の点訳処理（指定）（H）から、点訳方式を選択して点訳することができます。

点訳方式には、「日本語（英語１級)」「日本語（英語２級)」「英語１級」「英語２級」があります。

４．点字ファイルの編集、保存

ここでは、作成した点字ファイルの編集、保存を説明します。

１）　編集（E）メニュー

●　編集モード

編集モードは点字編集モード（B）か墨字編集モード（T）のどちらかを選択します。
選択されている方にチェックがつきます。
点字データと墨字用テキストの入力は、この編集モードを切り替えながら行ってください。
また、点字データと墨字用テキストはリンクしていません。位置合わせや、内容合わせはユーザーで行ってください。

●　切り取り（T）、コピー（C）、貼り付け（P）

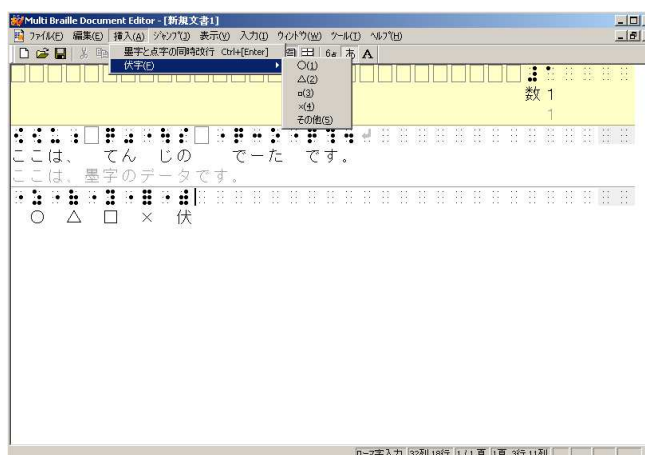
点字データでも墨字用テキストでも、選択範囲の文字列を切り取ったりコピーすることが出来ます。また、切り取ったりコピーしたものを、任意の場所に貼り付けることも可能です。

2）　挿入（A）メニュー

● 墨字と点字の同時改行

墨字文章と点字文章を同時に改行します。

● 伏字（F）

文章中に、○、△、□、×、その他の伏字を入力することができます。

3）　ジャンプ（J）メニュー

● 先頭へ

文章の先頭を表示します。

● 1ページ前へ

画面に表示されている文章の1ページ分前を表示します。

● 1ページ後へ

画面に表示されている文章の1ページ分後ろを表示します。

● 最後へ

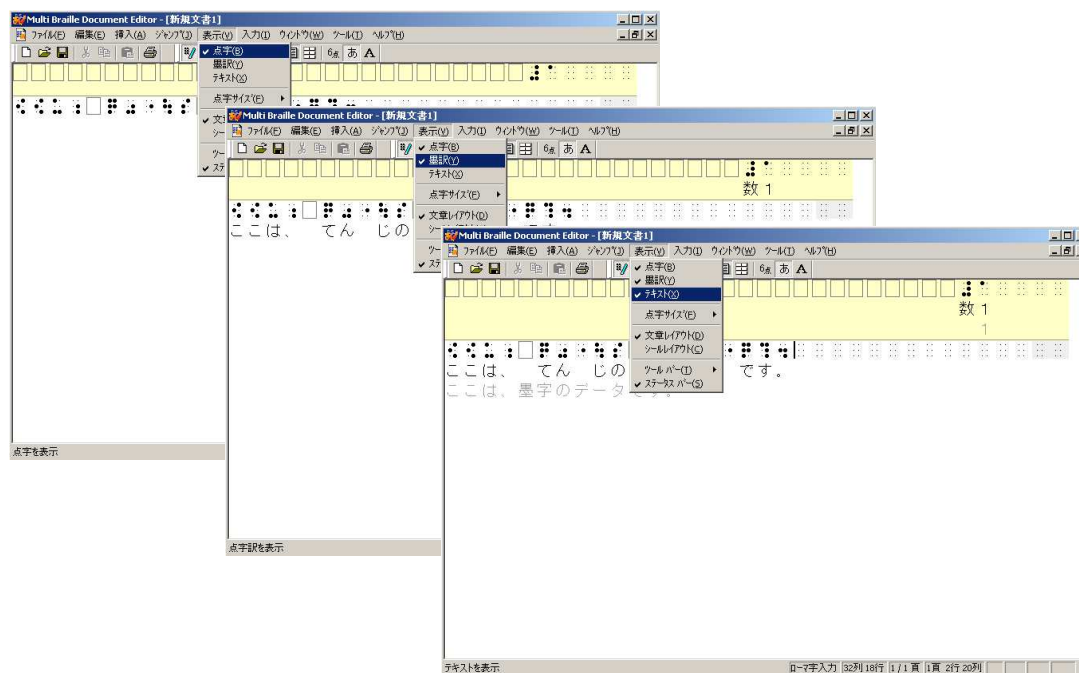
文章の最後を表示します。

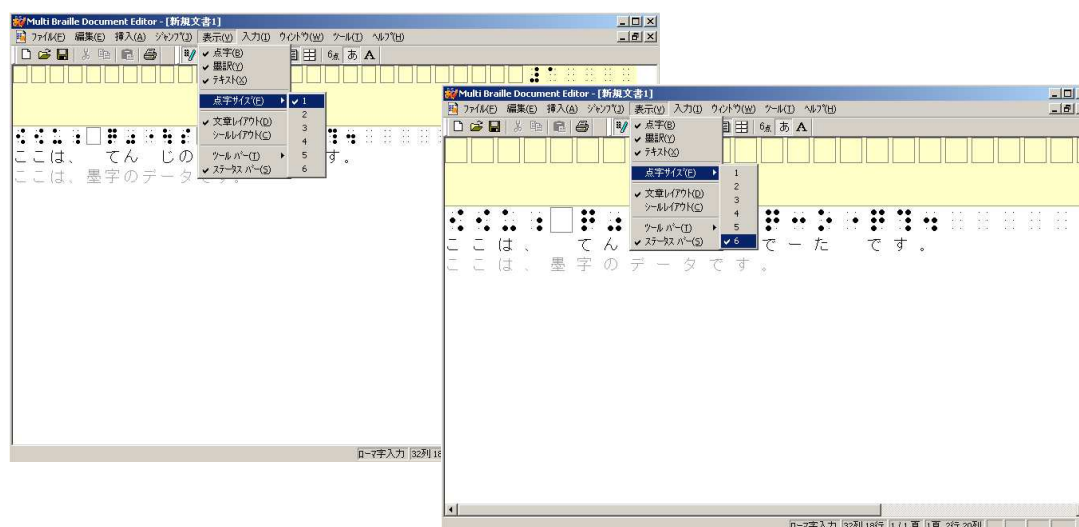
● 表示位置へカーソルを移動

表示されている文章中にカーソルを移動します。

4）　表示（V）メニュー

●　点字（B）、墨訳（Y）、テキスト（X）

点字データ、点字データの直訳、墨字印刷用のテキストデータは表示、非表示の設定が可能です。表示項目にはチェックがつきます。

●　点字サイズ（F）

画面上に表示される点字文字の大きさを変更できます。１から６まで６段階で設定できますので、お好みに合わせて設定してください。

●　文書レイアウト（D）・シールレイアウト（C）については、第３章の応用編で解説します。

5）　入力（Ｉ）メニュー

● ６点入力（Ｂ）、ローマ字（数字）入力（Ｒ）、英数字入力（Ｅ）

点字の入力は６点入力、ローマ字入力、英数字入力の中から選択できます。お好みの入力方法を選択してください。また、選択されている方にチェックがつきます。

６点入力は、点字タイプライター等のように６つのキーで点字の作成が出来ます。点字の１～６の点がキーボードのＦ，Ｄ，Ｓ，Ｊ，Ｋ，Ｌの順に対応しています。１つの点字を書く場合に、６つのうち何れかを同時に押してください。スペースや改行はそのまま使えます。

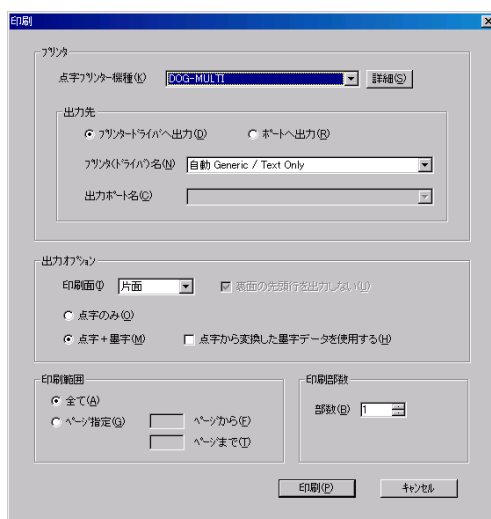
※ご使用の PC によって、キーボードが 6 点入力に対応していない場合がございますので、その際は、対応したキーボードに変えなければ利用できません。

注：テキストの入力方式は、パソコンの入力方式に依存します。直接入力やローマ字かな入力等を切り替えて入力してください。

6）　ファイルの保存を行うには、ファイル（Ｆ）メニューの名前を付けて保存（Ａ）を選択します。保存先を指定して、任意のファイル名をつけて保存します。このとき mse や mbd 形式でファイルを保存すると、墨字用のテキストデータも保存されます。

５．点字プリンタ出力

点字ファイルを点字プリンタに出力し、印刷します。点字のみの印刷、点字＋墨字の印刷。また、墨字印刷時のサイズや印字位置等の設定を行うことにより、様々な出力ができます。

１）　ファイル（Ｆ）メニューの点字印刷（Ｐ）を選択すると、印刷用の別のウィンドウが出てきます。

２）　印刷用メニューの設定の解説は以下のとおりです。

● 点字プリンタ

BMP-320, TP-32, BPW-32, DOG-Multi（インクジェット含む）, DOG-Basic32, DOG-Pro32W の中から、ご使用のプリンタを選択してください。DOG-Multi, DOG-Basic32, DOG-Pro32W については、詳細設定が行えます。次項をご覧ください。

● プリンタ（ドライバ）

印刷にプリンタドライバを使う場合は、ここでプリンタドライバを設定してください。

● ポートへ直接出力

印刷にプリンタドライバを使わない場合は、ポートへ直接出力をチェックしてください。また、出力するポートを選択してください。パラレルポートをご使用の場合はＬＰＴｘ、シリアルポートをご使用の場合はＣＯＭｘ、ＵＳＢで通信を行う場合は仮想作成されたＣＯＭｘを指定します。

● 印刷面

片面か両面を選択します。

片面プリンタで両面を印刷する場合は、印刷を２回に分けて行う方法となります。１回目は奇数ページだけの印刷を行い、２回目は遇数ページだけの印刷となります。

両面印刷の場合は、裏面の先頭行を出力しないというオプションが設定可能です。

● 印刷方法

点字のみか点字＋墨字を選択します。

点字＋墨字は点字プリンタで BMP-320 か DOG-Multi を選択した時だけ選択可能です。また、印刷面を両面にした場合は点字＋墨字は選択できません。

注：DOG-Multi の製造番号の下 2 桁が 45 以降のプリンタから、点字＋墨字の場合も両面印刷出来るようになりました。

点字＋墨字を選択した場合は、点字から変換した墨字データを使用するというオプションが設定可能です。このオプションを設定した場合は、墨字印刷用のデータに、点字の墨訳で表示されているかな文字を代用します。点字だけのデータしかない場合（BES ファイルを取り込んだ時など）に墨字付きで印刷する時などにご使用ください。

● 印刷範囲、印刷部数

印刷対象ファイルの全てを印刷するか、ページ範囲を指定できます。

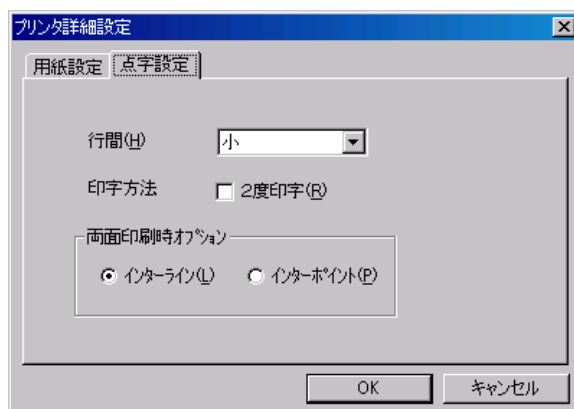
印刷部数では、部数を指定できます。任意の部数を指定してください。

３） 点字プリンタの詳細の解説は以下のとおりです。

● 用紙設定

用紙サイズの幅と長さをインチで指定します。

● 点字設定

行間を小, 中, 大, 同時印刷の中から選択します。

小	用紙長に対し最大行の印字を行いたい場合に使用します
中	小に比べ、行間が少し広がります
大	行間が一番広く、用紙長に対する印字可能行数が少なくなります
同時印刷	行間は小とほとんど同じです。DOG-Pro でインターポイント時に設定すると高速印刷できます

行間設定と、ファイルのページ内の設定行数の関係は、本マニュアル最後の付録をご覧ください。ページ内の設定行数が、用紙長と行間から割り出される印字可能行数を超えると、印刷できません。

注：DOG-Multi と DOG-Basic32 の両面印刷は両面同時印刷ではなく、表面を印刷後に用紙を再挿入して、裏面印刷を行う方法で両面を印刷します。さらに両面方式はインターライン方式ですので、行間は大に設定する必要があります。

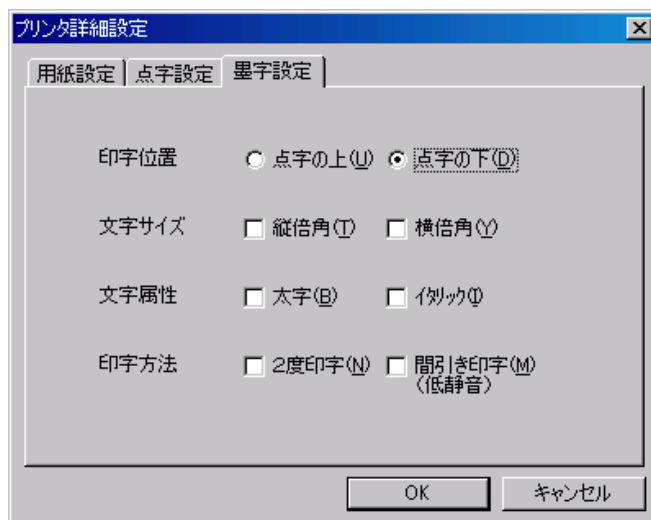
印字方法の２度印字をチェックすると点字の印刷が遅くなる代わりに、点の質が向上します。

両面印刷オプションの中からインターラインかインターポイントを選択します。

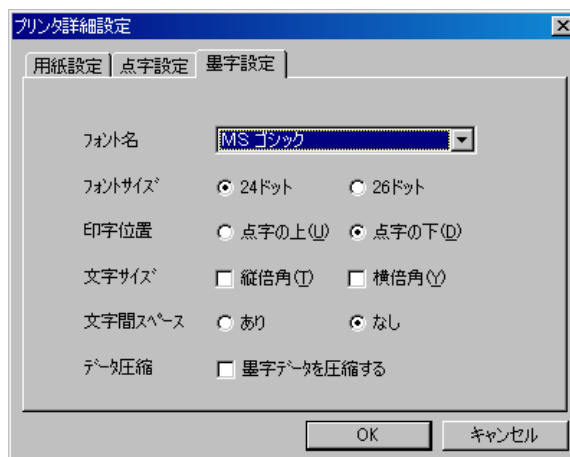
注：DOG-Multi と DOG-Basic32 の両面方法はインターライン方式で固定です。

注：インターラインを選択した場合は行間 大 が必須です。また、DOG-Pro でインターポイントに設定し、さらに行間を同時印刷に設定した場合は両面を高速で印刷可能です。

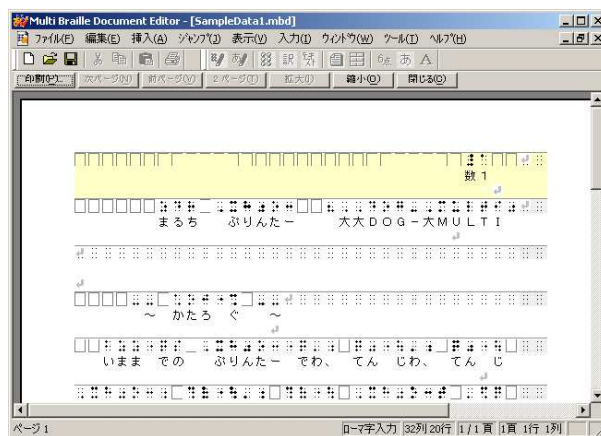
● 墨字設定

墨字の印刷に関するオプション機能を設定できます。印字位置や文字サイズ、文字属性、印字方法など、お好みに合わせて設定してください。

印字位置	墨字の印字位置を指定します。
文字サイズ	全てをチェックすると最大の 4 倍角になります。
文字属性	太字か斜体を指定できます。
印字方法	２度印字をチェックすると墨字が濃く印字されますが、印字速度が遅くなります。 間引き印字をチェックすると墨字が薄く印字されますが、印字速度は速くなります。

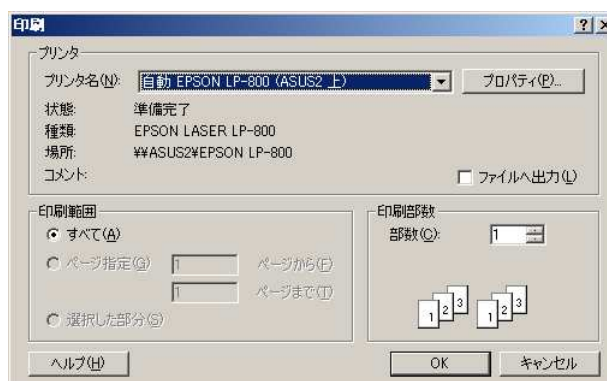
DOG-Multi（ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ）を指定の場合

フォント名	印字に使用するフォントを選択します。
フォントサイズ	24/26 お好みのサイズを選択します。
文字間スペース	文字間隔の設定です。 （横倍角指定の場合は設定不可）
データ圧縮	チェックを入れると点字と墨字を印刷した場合、印刷までの通信時間が短くなります。

６．画面印刷（プレビュー）

編集中の点字文書を画像イメージとして、墨字プリンタへ出力します。

１）　ファイル（Ｆ）メニューの画面印刷プレビュー（Ｖ）を選択すると、画面印刷プレビュー画面が表示されます。

※　墨字印刷プレビュー機能は、デフォルトプリンタでの出力イメージを表示します。従って、お使いのパソコンに於いてデフォルトプリンタの設定が正しくされていないと文字化けする場合があります。（Generic/Text Only をデフォルトプリンタと設定した場合など）

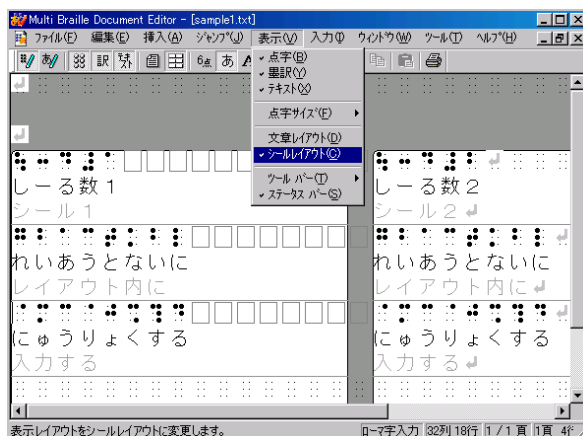
２）　［拡大（Ｉ）］／［縮小（Ｏ）］ボタンで画面イメージの拡大／縮小表示を行うことが出来ます。

３）　［印刷（Ｐ）］ボタンを押すと印刷設定ダイアログが表示されます。
※ファイル（Ｆ）メニューの画面印刷（I）を選択した場合も同様に以下の画面が表示されます。

必要であれば、印刷範囲や部数を設定します。
［ＯＫ］ボタンを押すと、印刷を開始します。

第３章　応用編

この章では、このソフト上での設定ついて説明します。これらの機能を有効にご活用ください。

１．シールレイアウト

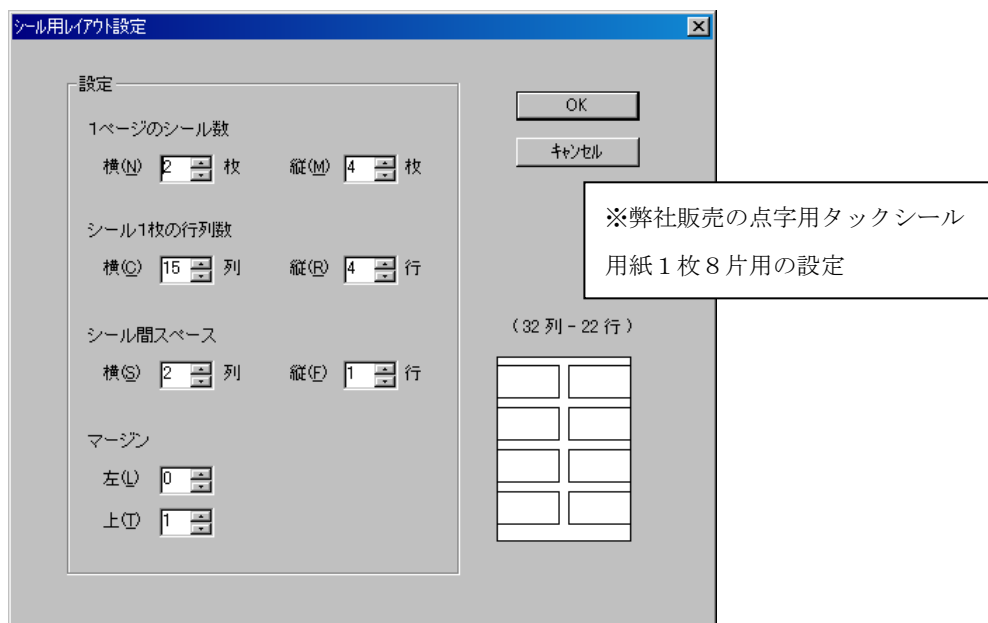
表示（V）メニューのシールレイアウト（C）をクリックすると、あらかじめ設定されたシールレイアウトに表示を切り替える事が出来ます。

シールレイアウトとは、点字印刷用シール用紙へ印刷するときに、１ページあたりのシールの枚数や、シール内の文字数、シール間のスペースが設定されたレイアウトで、シールに印刷する場合の入力の目安になるように、表示させたものです。シール内に収まるように文書を作成してください。

シールレイアウトの設定方法は次項で説明されるシールレイアウト設定をご覧ください。

また、文章のレイアウトに戻すには表示（V）メニューの文書レイアウト（D）をクリックします。

２．シールレイアウト設定

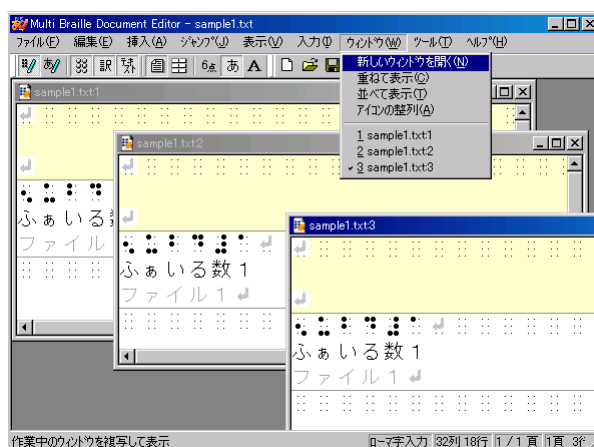
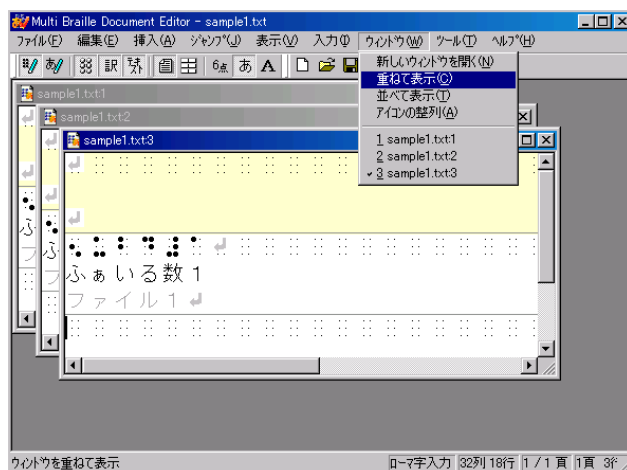
シール印刷の為の文書入力の目安となる、シールレイアウトの設定ができます。

ツール（T）メニューのシールレイアウト設定（S）をクリックすると、設定用の別のウィンドウが出てきます。

ご使用になる点字印刷用シール用紙のレイアウトになるように、１ページのシール数、シール１枚の行列数、シール間スペース、マージンを設定してください。

表示（V）メニューのシールレイアウト（C）で設定したレイアウトが表示され、シール印刷の文章入力の目安になります。

３．ウィンドウ

ＭＢＤＥは現在開いているファイルを整列させたり、編集用に１つのファイルを複数のウィンドウに分割させることが出来ます。

ウィンドウ（W）メニューの新しいウィンドウを開く（N）をクリックすると、現在アクティブ状態にあるファイルに対して、別ウィンドウを開きます。これらの既存のファイルと別ウィンドウで開いたファイルは同じ物です。どれかを編集すると、他のウィンドウも編集されます。

ウィンドウ（W）メニューの重ねて表示（C）、並べて表示（T）は、ＭＢＤＥ上に開いている複数のファイルを重ねて表示、または並べて表示します。また、アイコンの整列（A）は、最小化されているファイルのアイコンを整列します。

４．オプション設定

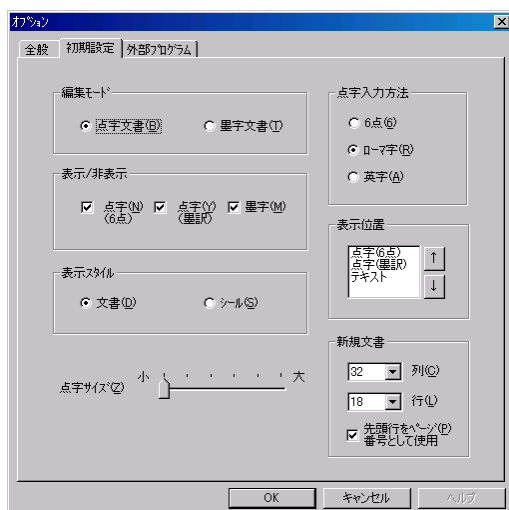
この機能は全体の設定で、起動時はここで設定したものが常に反映されます。
ツール（T）メニューのオプション（O）を選択すると設定画面が表示されます。

１）　ウィンドウ描画

画像バッファを使用すると画面のちらつきが無くなります。
文書入力などの場合にパソコンの処理が鈍くなるようでしたら、チェックを外してください。

２）　点字符号の表示

点字符号（数符、外字符、濁音符など）の表示設定を行います。

編集画面	編集画面上での表示設定
画面印刷	画面印刷時の表示設定
点字印刷	点字印刷時の表示設定

1）　<u>編集モード</u>

編集画面が表示された時に、点字の編集を行うか、墨字を行うかの設定ができます。

2）　<u>表示/非表示</u>

点字、点字の直訳、墨字印刷用のテキストをそれぞれ表示させるかどうか設定できます。

3）　<u>表示スタイル</u>

画面のレイアウトを文書レイアウトかシールレイアウトかに設定できます。

4）　<u>点字サイズ</u>

編集画面上の点字表示の大きさをスライドさせる事により変えることができます。

5）　<u>点字入力方法</u>

点字文書の編集の時に、6 点入力か、ローマ字入力か、英数字入力かを設定できます。

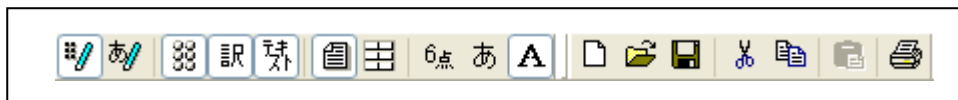
6）　<u>表示位置</u>

表示位置を変えたい項目を選択し、上下、動かしたい方向の矢印をクリックすると、編集画面上の表示位置を変えることができます。

7）　<u>新規文書</u>

新規文書作成時の 1 ページ当たりの文字数（列）、行数を設定できます。また、先頭行をページ番号として使用するかどうかも設定できます。

5．ツールバー

ツールバーはメニューから行える機能のショートカットコマンドです。非常に便利ですので、有効に活用してください。

編集メニューの点字編集モードです
編集メニューの墨字編集モードです

表示メニューの点字です
表示メニューの墨訳です
表示メニューのテキストです

表示メニューの文書レイアウトです
表示メニューのシールレイアウトです

入力メニューの６点入力です
入力メニューのローマ字（数字）入力です
入力メニューの英数字入力です

ファイルメニューの新規作成です
ファイルメニューの開くです
ファイルメニューの上書き保存です

編集メニューの切り取りです
編集メニューのコピーです
編集メニューの貼り付けです

ファイルメニューの点字印刷です

付　録

用紙長と行間による最大印字可能行数とグラフィック用ドット数　６点点字

行間 / 用紙長	小	中	大	同時印刷	縦ドット数/Page
10	22	20	18	22	106
10.5	23	21	19	23	112
11	24	22	20	24	118
11.5	25	26	21	25	124
12	26	24	22	26	130
12.5	27	25	23	27	134
13	29	26	24	29	140
13.5	30	27	25	30	146
14	31	28	26	31	152

用紙長と行間による最大印字可能行数とグラフィック用ドット数　８点点字

行間 / 用紙長	小	中	大	縦ドット数/Page
10	18	16	15	106
10.5	19	17	16	112
11	20	18	17	118
11.5	21	19	18	124
12	22	20	19	130
12.5	23	21	19	134
13	24	22	20	140
13.5	25	23	21	146
14	26	24	22	152

Multi Braille Document Editor
ユーザーズ・ガイド
２００９年１２月　第３版
著作者：株式会社日本テレソフト
株式会社日本テレソフト
〒１０２－００８３
東京都千代田区麹町１－８－１
半蔵門ＭＫビル１Ｆ